

「第四次志木市子ども読書活動推進計画(素案)」について

1 意見公募期間

令和7年12月3日(水)から令和8年1月5日(月)まで

2 計画の公開場所

市ホームページ、柳瀬川図書館、市民サービスステーション、柳瀬川駅前出張所、いろは遊学館、宗岡公民館、宗岡第二公民館、いろは遊学図書館

3 意見募集状況

人 数		意 見 件 数
個 人	団 体	
1人	0人	1件

区 分	
◎	意見を反映し、修正・加除(一部を含む)を行ったもの
○	原案のとおりとするもの
△	その他

No	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
1	<p>第二章 これまでの取組と成果</p> <p>ブックスタートを3ヶ月児健診での実施について</p> <p>母子保健推進員の活動の中で、生後3ヶ月のお子さんを持つご両親とイベントの中で交流を持ちました。絵本の読み聞かせや大型紙芝居を観ていただいたあと、とても楽しかったとお声をいただき、帰りには絵本を買って帰ろう、実家から絵本を持ってこようという感想をもらいました。9ヶ月健診の時に絵本を差し上げていますが、もっと早い時期、3ヶ月の時でも、早すぎることはないのではないのでしょうか？9ヶ月のお子さんを育てている親御さん、けっこう疲れています。もしかしたら動き回る子に、絵本は手に取る機会が少ないかもしれません。3ヶ月くらいなら、動かずねんねしてる赤ちゃんに余裕を持って読んであげたり、持ち歩いたり、身近に感じられるかもしれません。その延長で、誕生プレゼントに絵本とか、広がるかもしれません。もっと小さいうちから、本がそばにある環境を作ってあげたいなと思いました。本のプレゼントを前倒しにする。誕生祝いに、絵本をプレゼントする。などを提案したいと思います。</p>	<p>志木市ブックスタート事業は、絵本を介して、愛情のこもった言葉かけにより乳児の心を育て、親子の絆とコミュニケーションを深めることに寄与するとともに、本と親しむ機会を提供し、生涯にわたる読書習慣を形成する第一歩を支援することを目的として、平成27年10月から実施しています。この事業は、9か月児頃の赤ちゃんがさまざまなことに関心を持ち始める時期であり、首が座って赤ちゃん絵本を楽しめるスタート段階であることから、健康増進センターと連携して開始しました。9か月児健診の当日は、絵本をプレゼントするだけでなく、配布する絵本をその場で赤ちゃんに読み聞かせもしており、お持ち帰りいただいた後、ご家庭でも、絵本の読み聞かせの習慣を身につけていただくきっかけづくりをしております。また、この事業の前後においても、例えば、柳瀬川図書館や宗岡第二公民館図書室では、図書館で小さなお子さんと保護者が一緒に本に親しむことができる「赤ちゃんタイム」事業を行っているほか、市内図書館・公民館図書室では、ブックスタート事業のフォローアップ事業として、赤ちゃん向けの読み聞かせ事業なども行っており、乳幼児期から本に触れる機会を増やす取り組みを進めておりますので、今後も周知を図って実施してまいります。</p> <p>貴重な意見をいただき、ありがとうございます。</p>	○